

2019年度事業計画書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

1 公益目的事業について(演劇の振興事業)

1. 「北海道の演劇の向上事業」演劇の製作公演等による人材育成に関する事業 定款第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1)演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

札幌からの演劇創造と発信を目指して公演を行い、製作公演活動を活用して新たな演劇文化の担い手を育成する研修事業を行う。

2019年度は、札幌座という財団付属の創造集団をもとに、新作3作品を実施予定しているほか、アートで子どもの療育をサポートする児童デイサービス「ペンゲアート」との協働で舞台美術を製作した1作品を札幌演劇シーズンで再演するとともに、研修生を積極的に募集し、演劇製作を通じた人材育成に取り組む。

① 【新作】札幌座 Pit「葉桜」

原作:岸田國士

脚色・演出・音楽:斎藤歩

出演:磯貝圭子、熊木志保

公演日:4月12日～14日(4回)

会場:シアターZOO(札幌)

② 【新作】札幌座第56回公演「棲家」

原作:太田省吾 演出:斎藤歩

出演:坂口芳貞(文学座)、西田薫、磯貝圭子

公演日:10月10日～14日(6回)

会場:シアターZOO(札幌)

③ 【新作】All Sapporo Professional Actors Selection vol.1「カッコーの巣」

作:ケン・キージー 翻訳:岩元巖 演出:納谷真大(イレブンナイン)

出演:斎藤歩、納谷真大、西田薫、川崎勇人(東京乾電池)、小橋亜樹(オフィスキュー)、
東李苑(オフィスキュー)ほか

公演日:2月20日～3月1日(13回)

会場:札幌文化芸術劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

④ 【再演】札幌演劇シーズン 2019ー夏参加作 劇のたまご「ぐりぐりグリム第二章～シンデレラ」

原作:グリム童話(「灰かぶり」) 脚色・演出・音楽:斎藤歩

出演:櫻井幸絵、熊木志保、西田薫、横尾寛(平和の鳩)、櫻井ヒロ(micelle)

公演日:8月17日～24日(8回)

会場:札幌文化芸術劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

⑤ 札幌座研修事業

新たな人材育成を目的とした研修生システム(公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ)による俳優養成を行う(通年)。

講師:斎藤歩、清水友陽、磯貝圭子、納谷真大(イレブンナイン)ほか

(2)演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部や演劇活動者、幅広い年齢層と地域を対象に、実績あるワークショップ指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行う。

① 演劇ワークショップ事業

演劇部および演劇活動者を対象に、スキルアップのための各種ワークショップを行う。

[実施校ならびに実施団体]

札幌市中学校文化連盟演劇専門委員会、酪農学園大学、琴似工業高校、平岸高校、石狩子ども劇団「碧い海」ほか、市内・道内の数校での実施を検討。

[講師] 畑澤聖悟(青森中央高等学校演劇部顧問)、櫻井幸絵、斎藤歩、西田薫、熊木志保ほか

② 演劇を活用した教育普及・普及啓発事業

小中高等学校の演劇初心者を対象に、演劇を活用したコミュニケーション教育および地域コミュニティ形成などの各種ワークショップを行う。このほか、教育の現場以外にも、発達障がいなどの障がいをもつ子どもたちを対象とした演劇ワークショップ、社会福祉協議会でのコミュニケーションワークショップ、地域のワークショップリーダーを育成する事業の実施を検討。

[実施校ならびに実施団体]

厚別高校、苗穂小学校、とうや小学校(洞爺湖町)、美しが丘緑小学校、北野小学校、盤溪小学校、平岸高台小学校、立命館慶祥中学校、洞爺中学校(洞爺湖町)、北星女子中学校、児童デイサービス「ペンギアート」、紋別社会福祉協議会、網走社会福祉協議会など

[講師] 斎藤歩、清水友陽、磯貝圭子、西田薫、納谷真大(イレブンナイン)、熊木志保ほか

③ 劇作家の育成事業

札幌の20～30代の若手劇作家を対象に劇作に関するワークショップ、セミナーなどをおこない北海道の劇作家の育成を図るとともに、演劇の質の向上を目指す。

《劇作セミナー2019》 [講師] 斎藤歩、畑澤聖悟(渡辺源四郎商店)、鄭義信

《劇作家を育てるリーディング2019》 [講師] 斎藤歩、清水友陽、納谷真大(イレブンナイン)

④ シアターZOO ラボ

劇場という場所と演劇への多角的に知識を深められる事業を行い、観客の育成と演劇の普及を図る。

[講師] 宮田慶子 (演出家・青年座)、木野花 (俳優・演出家) ほか

本事業のうち、(1)の②③は「文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)」(日本芸術文化振興会)からの補助を申請中。

(2)の①と②の一部は、「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」(文化庁)、「コミュニケーション能力向上事業<コーディネーター方式>」「コミュニケーション能力向上事業<学校申請>」(文部科学省)等に申請するほか、①と②の一部ならびに③は「文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂機能強化推進事業)」(文化庁)の補助を申請中。

2. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業 定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 扇谷記念スタジオ・シアターZOO の運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間を提供し、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として運営、管理する。具体的運営は「運営責任者制」として行っている。

運営責任者: 斎藤歩(札幌座チーフディレクター)

運営者: 木村典子(プロデューサー)、清水友陽(ディレクター)、すがの公(ディレクター)、
弦巻啓太(ディレクター)、櫻井幸絵(ディレクター)

扇谷記念スタジオ・シアターZOO を、より地域に深く根差す「地域密着型劇場」、そこを拠点として人材が集まり作品創造に取り組む「創造型劇場」、この2つを柱に沿った長期的な展望に立った以下の事業を行う。

① シアターZOO 企画公演

精力的に活動する道内外の劇団やアーティストと協力して公演を行うほか、若手劇作家の育成と創造を目的に公演を行う。また、これまで取り組んできた「劇のたまご」を継続し、英語字幕を付けるなど演劇による地域の観光コンテンツを開発するなど、「創造型劇場」「地域密着型劇場」の確立と演劇文化の向上を目指す。

5月	渡辺源四郎商店(青森)「背中から40分」
	鷗座「火曜日はスーパーへ」「HER VOICE」
9月	劇作作家育成公演「女と男、座面と境界」(前田透、小佐部明広、竹原圭一)
12月	劇のたまご「大どろぼうホッツェンプロッツ」
	すすきのを爪弾く「聖夜の憂哀歌(ブルース)」

② シアターZOO 提携公演

札幌座のディレクターが代表を務める劇団(弦巻楽団、札幌ハムプロジェクト)、道内出身で東京に活動拠点を置くアーティスト(道産子男闘呼倶楽部)を中心に、道内外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、「創造型劇場」「地域密着型劇場」の確立と演劇文化の向上を目指す。

4月	札幌ハムプロジェクト「ルビコン河を渡る」(札幌)
5月	イレブンナイン「はじまりは、おわりで、はじまり」(札幌)
6月	山田せつ子(ダンス)&嵯峨治彦(馬頭琴)(東京・札幌)
8月	道産子男闘呼倶楽部「雪虫」(東京)
9月	Micelle「サッポロ・ダンスポート・プロジェクト」2019(札幌)
10月	あうんの会「海につくまで」(津)
1月	ゴジゲン「ポポポポリンピック(仮題)」(東京)
2月	札幌演劇シーズン 2020-冬:クラアク芸術堂「汚姉妹」
3月	信山プロデュース「人形の家」(札幌)
	オフィスコトナー「山の声」(東京)
	弦巻楽団「舞台に立つ」(札幌)

③ シアターZOO 寄席

定期的に「寄席」を開催し、地域住民とのコミュニケーションを図る。

[時期] 7月、10月、1月(3回予定)

④ 札幌劇場祭(TGR)参加公演

[参加団体] RED KING CRUB、劇団・木製ボイジャー14号ほか

[時期] 11月3日～12月1日(予定)

⑤ 「raprap スピンオフ」韓国公演

2016年に創造型劇場として企画したアイヌのウポポと札幌の若手ダンサーによる「raprap スピンオフ」を韓国(ソウル)で公演することにより、地域の若手アーティストに海外での公演を経験させるとともに、世界に発信できるアーティストの育成を目指す。

(2) サンピアザ劇場企画公演プレミアムステージの企画運営

札幌副都心開発公社と協力し、プレミアムステージの企画運営を行う。

本事業のうち、①は「文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂機能強化推進事業)」(文化庁)の補助を申請中。⑤は日韓文化交流基金に補助を申請中。

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指す。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人々のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタッフの派遣、事業の運営および管理を行い、1作品を1カ所で1公演を行う。

① 劇のたまご「ぐりぐりグリム第二章～シンデレラ」清田公演

原作:グリム童話(「灰かぶり」) 脚色・演出・音楽:斎藤歩

出演:櫻井幸絵、熊木志保、西田薫、横尾寛(平和の鳩)、櫻井ヒロ(micelle)

公演日:8月12日(1回)

会場:清田区民センター

4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOO サロン」を年8～10回開催、年間400名の参加者を見込む。

また、ボランティア組織(「清田演劇のつどい実行委員会」「江別演劇プロジェクトWinds」)などと協力して札幌市内および近郊で演劇の普及活動を行うほか、演劇創造都市札幌プロジェクト、らてるね賞実行委員会など、北海道における演劇を取り巻く環境の改善を目指し活動する市民組織の活動を支援する。

(2) 広報紙の発行

内容を充実させ、より広報活動に使用できるものとする。

[発行回数] 年2回(4月、10月)

[発行枚数] 各500部

2 収益事業について

1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 劇場とスタジオ1・スタジオ2の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOOとスタジオ1を主に道内の劇団や文化団体に、スタジオ2を特定非営利活動法人札幌座くらぶにそれぞれ貸与する。

2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託する。

[受託団体] 特定非営利活動法人札幌座くらぶ